

1. はじめに

(1) 「知的財産推進計画2019」策定にあたって

- 「価値デザイン社会」とは
- 「価値デザイン社会」の実現のための移行戦略のコンセプト、方向性を示し、移行戦略を具体化していくものとして「知的財産推進計画2019」を位置付ける

2. 「脱平均」の発想で個々の主体を強化する&チャレンジを促す

(1) 中長期の方向性

(2) 当面の施策の重点
具体施策を記述

3. 分散した多様な個性の「融合」を通じた新結合を加速する

(1) 中長期の方向性

(2) 当面の施策の重点
具体施策を記述

4. 「共感」を通じて価値が実現しやすい環境を作る

(1) 中長期の方向性

(2) 当面の施策の重点
具体施策を記述

5. 工程表

(1) 「知的財産推進計画2019」重点事項

(2) 「知的財産推進計画2018」からの継続項目

「知的財産戦略ビジョン」
の3本柱に
沿った柱建て

目指すべき姿(ビジョン)

価値デザイン社会 ～夢×技術×デザイン=未来～

経済的価値にとどまらない多様な価値が包摂され、そこで多様な個性が多面的能力をフルに発揮しながら、「日本の特徴」をもうまく活用し、様々な新しい価値を作って発信し、世界の共感を得る

実現のための移行戦略

A ; 「脱平均」の発想で個々の主体を強化する&チャレンジを促す

B ; 分散した多様な個性の「融合」を通じた新結合を加速する

C ; 「共感」を通じて価値が実現しやすい環境を作る

1 将来に向けた価値のデザイン
(経営デザインシートの考え方の普及、デザイン経営、知財の見える化・適正な価値評価の実行)

2 オープンイノベーションの促進

3 ベンチャーを後押しする仕組み(スタートアップエコシステム、ベンチャーからの調達支援)

4 創造性の涵養・尖った人材の活躍

5 地方・中小の知財権者強化支援

7 知財創造保護基盤の強化

6 知的資産プラットフォーム
(構想クラウドの構築、SDGsプラットフォームの活用)

8 データ・AIの適切な利活用促進に向けた制度・ルール作り

9 模倣品・海賊版対策の強化

10 デジタルアーカイブ社会の実現

11 国内外の撮影環境改善等を通じた映像作品支援

12 クリエイション・エコシステムの構築
(ブロックチェーン等の新しい技術を活用した著作物の管理・適切な利益配分、新しいコンテンツ流通環境に対応した海外展開促進)

13 クールジャパン単独各の持続的強化